

クロダマルの生産量は 宇佐市が国内トップクラス！

「クロダマル」は、7月中旬から田んぼに種をまいて作ります。ふつうの大豆より粒が大きいので、種をまいて芽を出すまでに大きなエネルギーが必要になります。

がんばって芽を出した「クロダマル」は、雑草や病気に負けず、台風にもたえて、元気に大きく育ちます。そして8月末にむらさき色のかわいらしい花を咲かせ、その花はやがて「さや」へと成長します。

その後、12月上旬までゆっくりゆっくり時間をかけて大きくなった実は、まるまるつやつやとした大粒の黒大豆になります。



給食ではクロダマルの枝豆が出るよ！



クロダマルの枝豆



「クロダマルの枝豆」は毎年10月に旬をむかえます。大粒で、さやの毛が茶色いのが特徴です。しゅうかく期間は短く、おいしくいただけるのは1週間程度です。

クロダマル



枝豆をしゅうかくせずにそのままおいておくと、大豆として食べることができます。クロダマルは、表面につやつやとしたかがやきがあるのが特徴です。

クロダマルをもっと知ろう！

特徴①

苦みが少なく黒っぽくて甘みが強いです



特徴②

食物繊維がたっぷりなので、おなかをきれいにおそうじしてくれます

特徴③

アントシアニンも多く、目のつかれをとってくれます